

阿寒町で「共産党のつどい」開かれる

おでかけ
パスポート

だけでは交通手段の確保にならない

1月23日、阿寒町において「日 場が村上議員の地元ということもあり、ご近所の方にもたくさん参加いただきました。」

① 加齢性難聴の補聴器助成の実現。

② 子どもの給食費は4月以降も無料にする。

③ 自然災害からいのちと暮らしを守る市政に。

津波避難施設の整備、洪水ハザードマップ作成。

まず最初に村上議員から、いま共産党が特に力を入れたいと思っている「3つのお約束」について説明。

「いまの市政は、鉄道高架に前

のめり、その事業費を貯めようと暮らしと福祉を犠牲にしています。市の基金は21年度末で138億円、使い道が自由な基金も76億円あります。この一部をつかって暮らしに役立つ方向に切り替えます」と話しを結び、ここから会場からの質問タイムです。

問 消費税を下げても暮らしを守ってほしいと思ってるのに、消費税が下がる気配は全くなし。下げられそうにないの？

実は、消費税減税こそ、「日本の常識は世界の非常識」なんです。今の物価高は世界共通、世界の多くの国が消費税の減税をしています。世界から見ると、「なぜ日本は消費税を下げないのか」不思議でなりません。

大事なのはやっぱり政治を変えること。私たちは地方選挙だけでなく、解散総選挙で国の政

治を変えることを訴えています。

問 鉄道高架にするのはどういったんですか？

正直言うと、私も本当のところはわかりません。

ただ、今の市長が鉄道高架を言い始めた直接のきっかけは、

津波の時に、車で逃げやすくなるためです。でも車で逃げるのは最悪です。東日本大震災でも大渋滞し多くの犠牲が出ました。もうひとつ、駅前をウォーカーブル構想と言って、北大通の歩道を広げて、そこにカフェテラスをつくり、人が集えるエリアにする。そうすると国の補助金ももらえる。でも、寒い時期が長い釧路では無理があります。



よく考えてみますね...

特に多くの意見が出たのが公共交通のほう。

「おでかけパスポート」はバスでも行けて百円で便利だけれど、阿寒ではバス路線そのものが少ない。おまけにバス停まで遠い。タクシーは土日と夜は全く不便。バスはステップが高く乗れないなど、「元気な高齢者」しか見ていない。低床が必要な所を巡回するデマンドバスがほしい。

洪水対策でこんな提案もありました。

殉公碑公園の北新町側に階段をつければ、避難所として利用できるのでは？

